

大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」  
海域アジア史研究会共催  
公開ワークショップ

## 帝国の時代の都市と植民地ー「周縁」から考えるー

世界の一体化が進んだとされる 19 世紀後半から 20 世紀前半の世界において、地域独自の構造やネットワークはどのように存続し、変容をとげたのか。このワークショップでは、横断的な比較を目的として、地中海、ロシア、東アジア、東南アジアにおける植民地や帝国に埋め込まれた諸都市を考察する。周縁的と見なされる地域の研究を通して浮かび上がる多様な近代性を提示したい。

日時：2009 年 1 月 10 日(土) 13:00~17:30

場所：大阪大学豊中キャンパス 文 11 教室（文法経講義棟 1F）

### プログラム

#### 第一部：ヨーロッパの外縁と帝国（13:00~）

工藤晶人（大阪大学大学院人間科学研究科 COE 特任研究員）  
アルジェリアにおける地域形成と都市ー植民地のハイブリッド性再考

巽由樹子（東京大学大学院人文社会系研究科博士課程）  
サンクトペテルブルクと出版メディアー近代ロシア帝国の地理認識形成における役割

#### 第二部：ネットワークと境界から見るアジア（14:30~）

久末亮一（政策研究大学院大学研究助手）  
エコノミック・ゲートウェイとしての香港ー「つながり」と「流れ」のなかの都市

鬼丸武士（政策研究大学院大学助教授）  
地下活動の場としての「魔都」ー戦間期、上海での政治運動

大田省一（東京大学生産技術研究所助手）  
熱帯アジアのリゾート都市

#### 全体討論（16:30~）

問い合わせ先：大阪大学大学院人間科学研究科 GCOE 事務局 (gcoejimu@hus.osaka-u.ac.jp tel 06-6879-4046)